

さんあいとは…

「語りあい」

さんあい広場で語り、笑い、励ましあう。そんなコミュニケーションが、友だちの輪を広げます。

子どもたちは大人から昔のことを学び、高齢者は子どもから元気をもらいます。人と人のふれあいが、地域を明るくします。

「助けあい」

話すこと、遊ぶこと、地域の役に立つこと。友だち、人の輪が大きくなれば地域は元気になります。

「ふれあい」

事業の三本柱

給食事業

高齢者が、大勢で食卓を囲みながら楽しい食事ができるよう、得意料理を調理して皆さんに提供しています。



趣味活動事業

囲碁・将棋・手芸・習字・カラオケなどの文化活動や、グラウンドゴルフ・健康体操などの体育活動を通じて、高齢者間の交流を図っています。



世代間交流事業

高齢者と地域の子もたちが遊びや伝承玩具などの工作を通じて、広場の催しには子どもたちを、学校行事には高齢者を互いに招待し交流を図っています。



さんあい広場さた

愛があふれる、さんあい



さんあい広場とうだ



さんあい広場さんごう



さんあい広場かすが

高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けるには、近隣の相互扶助などのサポート体制が必要であると考えられています。

平成12年当時、一部の地域において、ボランティアグループが1人暮らしの高齢者などを対象に配食サービスや給食サービスを行っていました。

これらの活動を、更に市域全体に広げるため、学校の空き教室を活用し、地域で自主的に活動を行う施設として、「さんあい広場」を開設し、整備をしてきました。

さんあい広場では、自宅に閉じこもりがちな高齢者が、住まいの近くで気軽に地域の人と楽しいひとときを過ごせる取り組みを行っており、現在では、「さた」「さんごう」「かすが」「とうだ」の4カ所でさんあい広場を開設しています。

「ふれあい」「語りあい」「助けあい」の3つ意味を持つ「さんあい」。高齢者をはじめとした皆さんの愛情に包まれたさんあい広場として、気軽に世代間の交流ができる場所を目指していきます。

TEL 06・6992・1610
問 高齢介護課